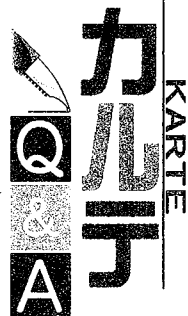


4年前に脳梗塞を発症。退院後の2年間、リハビリに通いましたが、昨年10月ごろから左脚が重くなり、歩けなくなりました。立ち上がると脚が震えて座ってしまいます。治療法で悩んでいます。カテーテル治療を聞きましたが、どうでしょうか。(79歳、男性)

## 脳梗塞の後遺症



吉田泰久医師

脳梗塞は脳の血管が詰まり、血栓(血の塊)ができる病気で、多くの人が後遺症に悩んでいます。運動、感覚、意識の障害を

投与し血栓を溶かす薬「t-PA A」です。全ての脳梗塞に治療適用となりますが、大きな血栓が溶けにくい欠点があります。しかし、いずれもかなり早期の治療法で、カテーテルは24時間以内、t-PAは4時間半以内しか適応されません。今回の相談者の方は、4年前の発症で

くくなる状態のことを指します。痙縮には近年、ボツリヌス治療がよく施されます。ボツリヌストキシンと呼ばれる薬を注射し、筋肉を柔らかくする方法です。緊張を和らげると、リハビリもやりやすくなるメリットがあります。筋力を回復させること

## 筋力低下はリハビリが基本

はじめ、高次脳機能障害などさまざまなです。発症直後は2種類の治療があります。カテーテルはその一つで、血管内に管を挿入して血栓を回収したり、溶かしたりする方法です。太い血管で行われま

すから、適切ではありません。下半身の障害があるようすが、別の治療になるでしょう。高齢の場合、まず筋力の低下が考えられますが、「痙縮」の可能性もあります。後遺症でよくみられる障害の一つで、筋肉が硬くなり、手足を動か

とで運動障害を改善させることが期待できます。主治医と現在の状態の原因を十分に話し合った上で、適切な治療を選択してください。

筋力低下は後遺症を悪化させるばかりか、認知症など他の疾患に発展する原因にもなります

から、リハビリは基本です。心臓疾患など運動に悪影響のある病状がないならば、地道に続けてください。物につかまっ立ち上がるトレーニングだけでも効果はあります。

(兵庫県医師会、吉田泰久 神戸市兵庫区、吉田病院院長)

◇第1、3、4日曜に掲載します。